

令和4年度 病害虫発生予察情報

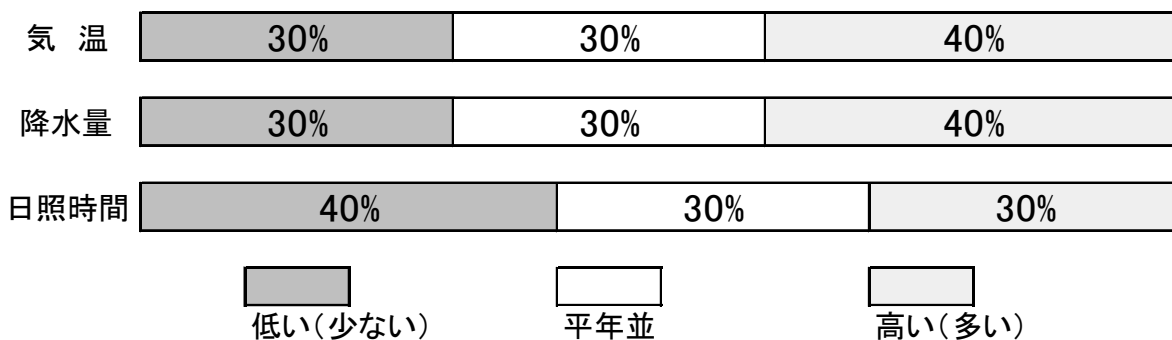
発生予報第8号（10月）

令和4年10月7日
島根県

予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量
果樹	カキ	カメムシ類	平年並
野菜	キャベツ	黒腐病	やや多い
		菌核病	やや少ない
	アブラナ科野菜	コナガ	少ない
		ハスモンヨトウ	平年並

中国地方1か月予報(10月8日～11月7日・広島地方气象台10月6日発表)
＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞



A. 果樹

1) カキ

(1) カメムシ類

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 平年並

予報の根拠

① 9月第1半旬から10月第1半旬までの予察灯（出雲市）でのカメムシ類の誘殺数は227頭（平年285.1頭）と発生量は平年並みである。

② 9月下旬の巡回調査での累積被害果率は、2.1%（平年1.6%）と平年並みである。

③ 10月の気象は、本種の発生を助長する要因とはならない。

B. 野菜

1) キャベツ

(1) 黒腐病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 やや多い

予報の根拠

① 9月下旬の巡回調査では、発生ほ場率が5.0%（平年発生ほ場率 2.6%）と発生量は平年に比べてやや多い。

② ハスモンヨトウ等食葉性害虫の発生量は、平年並みと予想されている。

③ 10月の気象は、本病の発生を特に抑制する要因とはならない。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 やや少ない

予報の根拠

- ① 9月下旬の巡回調査では、発生は確認されておらず（平年発生ほ場率2.3%）、発生量は平年に比べてやや少ない。
- ② 10月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

2) アブラナ科野菜

(1) コナガ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 少ない

予報の根拠

- ① 9月下旬の巡回調査では、アブラナ科野菜での本種の発生ほ場率は0%（平年9.8%）、寄生株率は0%（平年1.3%）であり、発生量は平年に比べて少ない。
- ② 10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 平年並

予報の根拠

- ① 9月下旬の巡回調査では、アブラナ科野菜での本種の発生ほ場率は10.0%（平年23.0%）、寄生株率は1.0%（平年4.2%）で、発生量は平年並みである。
- ② 7月以降のフェロモントラップによる累積雄成虫誘殺数は、県東部で1075頭（平年1192.8頭）、県西部で1183頭（平年1260.9頭）と平年並みである。
- ③ 10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

島根県病害虫防除所

(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科)

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

ホームページアドレス：

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/byougaityuu/